

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問い合わせ	半田市立博物館 館長 関 正樹 TEL 0569-23-7173
-------	--

令和3年9月7日提供 (事前情報・事後情報)

名称	館蔵品展「山本梅荘 没後100年展」の開催について																														
日時	令和3年9月18日(土)～11月7日(日)																														
場所	半田市立博物館(半田市桐ヶ丘4丁目209-1) TEL(0569)23-7173 2階特別展示室、1階展示コーナー																														
主催者	半田市立博物館																														
趣旨 (目的)	半田が生んだ著名な南宗画家、山本梅荘(ばいそう)の没後100年を記念して、梅荘一門の作品や遺品など約50点を展示します。																														
山本梅荘 について	山本梅荘は弘化3(1846)年、現在の碧南市鶴ヶ崎に生まれ、幕末の頃に養父とともに半田に移り住みました。その後、知多半島を拠点に数々の作品を制作、南宗画壇の最高峰を極めます。梅荘の長男石荘(せきそう)、次男の香雲(こううん)、孫の耕坪(こうへい)らも梅荘の画風を忠実に学び、彼らもまた多くの優れた作品を残しました。これら梅荘一族の弟子たちには著名な画家も多く、その数は数十人に及びます。当館では、梅荘一門の掛軸をはじめ画帳や遺品など約150点の資料を収蔵しています。																														
主な 展示作品	<table border="1"><thead><tr><th>作品名</th><th>作者名</th><th>装丁</th><th>制作年</th></tr></thead><tbody><tr><td>水墨松林山水之図</td><td>梅荘</td><td>掛軸</td><td>大正3(1914)</td></tr><tr><td>六曲屏風(春)</td><td>梅荘</td><td>屏風</td><td>明治43(1910)</td></tr><tr><td>鴻雪図誌</td><td>梅荘</td><td>画帖</td><td>—</td></tr><tr><td>明筆(11点)</td><td>梅荘</td><td>遺品</td><td>—</td></tr><tr><td>青緑山水</td><td>石荘</td><td>掛軸</td><td>明治40(1907)</td></tr><tr><td>青緑山水</td><td>香雲</td><td>掛軸</td><td>明治45(1912)</td></tr></tbody></table>			作品名	作者名	装丁	制作年	水墨松林山水之図	梅荘	掛軸	大正3(1914)	六曲屏風(春)	梅荘	屏風	明治43(1910)	鴻雪図誌	梅荘	画帖	—	明筆(11点)	梅荘	遺品	—	青緑山水	石荘	掛軸	明治40(1907)	青緑山水	香雲	掛軸	明治45(1912)
作品名	作者名	装丁	制作年																												
水墨松林山水之図	梅荘	掛軸	大正3(1914)																												
六曲屏風(春)	梅荘	屏風	明治43(1910)																												
鴻雪図誌	梅荘	画帖	—																												
明筆(11点)	梅荘	遺品	—																												
青緑山水	石荘	掛軸	明治40(1907)																												
青緑山水	香雲	掛軸	明治45(1912)																												
担当者 情熱メッセージ	山本梅荘は半田の文化・芸術を語る上で、無くてはならない人物の一人です。本展では梅荘の没後100年を記念し、若年から晩年に至る作品のほか、普段目に触れることの少ない画帖や書簡、絵付、遺品なども展示します。南宗画壇の最高峰を極めた山本梅荘が描く、味わい深い南宗画の魅力をぜひご覧ください。																														
別紙	有 ・ 無																														
写真	事前提供可 ・ 事後提供可																														

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603

